

POSTIME

vol. 05

2018.2

会長挨拶～年頭にあたり～



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、当協会は2015年10月の設立よりおかげをもちまして2年を迎えました。

当初27社の正会員にてスタートした協会は、現在その5倍超の会員数になりました。日頃より多方面から活動を支えて頂いている方々に感謝申し上げます。

当協会と致しましては、設立以来の「日本標準産業分類」の広告業に、ポスティングの文字が一業種として掲載されるという使命を意識しつつ、今後とも広く社会に認知され受け入れられる日本の産業の着実な発展に貢献していきたいと考えております。

具体例として、第3回までを終え、九州にて第4回目を開催する管理責任者制度の一貫である検定ならびに、法人宛にグッドポスティングマークの付与をする安全性評価制度。この二本柱を基に活動をし、業界の確立と社会的地位向上に一

役買えるよう邁進してまいります。

私は、ポスティング業界が抱えている課題、今ある閉塞感を一足飛びに解決する術はないと考えております。しかし、小さくても着実な一歩を皆様のご協力のもと進んでいくことで、着実に違う未来、違う業界を作れると思っております。

最後になりますが、本年も役職員一丸となり、努力を続けて皆様のご愛顧にお応えしていく所存でございますので、皆様の変わらぬご支援やご協力を頂けますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

一般社団法人 全日本ポスティング協会
会長 白井 正良



新春年賀会

2018年1月12日(金) 昨年と同じく、京都の「南禅寺順正」にて全日本ポスティング協会新春年賀会を開催しました。全国より総勢64名の会員の皆様にお集まりいただき、京都料理に舌鼓を打ちつつ盛大な年賀会となりました。

今年のゲストは落語家 桂福丸師匠 を招き、「若者の心にひびく怒りかた」を演題にした講演会を、続いて「竹の水仙」を演題にした落語をお話して頂き新春年賀会を多に盛り上げて頂きました。

開会にあたり、白井会長より新年の挨拶を頂き、名誉顧問 馳浩衆議院議員より頂戴した祝辞を読み上げ、引き続き来賓の



ご紹介、弁護士の横地利博様、一般社団法人日本青少年育成協会監事 川名一弘様、有限会社エテノワール代表取締役 小野拓哉様、ご紹介者様より一言ご挨拶を頂き、森神副会長の乾杯のご発声により新春年賀会は幕を開けました。

日本全国よりお集まり頂いた同業者の皆様との食事・歓談を楽しむ中、あっという間にお時間となり、武田専務理事による締めめの挨拶を頂き閉会となりました。

お集まりの皆様との交流とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

忘年会

2017年12月20日、年末の人波で賑う東京新宿の「371BAR」にて「全日本ポスティング協会忘年会」を開催いたしました。全国津々浦々から総勢79名の会員様のご参加のもと一年間の思い出を語り合い、親交を深めあいました。

会は冒頭白井会長の挨拶で始まり、ゲストのマジシャン「KUMA」さんの華麗なマジックが披露され会場内は歓喜に沸きあがりました。

2017年の全日本ポスティング協会は各委員会のご協力のもと、「管理責任者制度」の受講が始まり、「安全性評価制度」の概要も少しずつ決まり始めるなど協会自体の「進歩の1年」でもありました。そんな「進歩の1年」の締めくくりを全国の会員同士でねぎらい、互いの親睦を深めることができたとても実のある楽しいひと時でした。2018年は全日本ポスティング協会にとって「進歩の1年」から「躍進の1年」にしたいものです。



interview

会員企業インタビュー Vol.3



株式会社 **ダイレクトマーケティングセンター**
代表取締役 **西脇 久雄氏**



皆さん 明けましておめでとうございます。本年度も色々な会社さんのこだわりをお伝えできたらと思います。宜しくお願い致します！さて、新年最初の訪問は、大阪の超老舗でもあります株式会社ダイレクトマーケティングセンター様へお邪魔いたしました。

川井(以下省略)：明けましておめでとうございます。

〈西脇社長(以下敬称略)〉 ようこそいらっしゃいました。

―街中なのに、過ごしやすそうなお店ですね。

〈西脇〉 最高ですよ。駅前とは思えないでしょ。もともと工場の多かった場所なので、道も広めですし地域の理解もあります。

―素敵ですね。お生まれになったのも、この辺りなのですか？

〈西脇〉 大阪の中之島というところで昭和12年に生まれました。戦前は中之島にも住宅がたくさんあったのですが、疎開している間に、空襲で無くなってしまいました。

―都会生まれなんですね。私は郊外で生まれたので想像できません。その後、どういったきっかけでこの仕事を始めたのですか？

〈西脇〉 最初は、販売専門の地元夕刊紙を発行している新聞社で働いていました。

―夕刊専門ですか？ そういのが存在したのですか。

〈西脇〉 昔は中小の新聞社が沢山ありましたよ。その後、経営陣の代替わりをきっかけに独立をしました。あても無く辞めちゃったのですが、心配はありませんでした。若かったですね！ガムシヤラに営業している中で、大手の食品・飲料メーカーから試食や試飲の材料をスーパーに届ける仕事を受注しました。当初は、大手運送会社がやっていたが、配送が通常の商品とごっちゃになる為にトラブルが多かった。なので、その試食・試飲用キットを実施前日に配達・設置する業務委託しました。キャンペーン用キットを売り場に持ち込み設置することで店頭キャンペーンがスムーズに実施され、店長およびメーカーから好評を得て話題になり、徐々にお客様が広がってゆきました。

―ポストイングが最初じゃないんですね？

〈西脇〉 ポスティングというプロモーションは、当時の日本にはまだ無かったですよ。更にポストイングは、発祥がアメリカって知っていますか？

―え？ 昔のミッドが最初かと思っていました。

〈西脇〉 違います。アメリカの大手一般消費財メーカーが、プロモーションの一环でドアツードアという手法を使っていたのが始まりです。日本に馴染みの無い商品を販売する為に、まずテレビコマーシャルを打つ。その後スーパーなどでの試供品の配布・更に重ねて地域のポストに試供品を配布するのです。これを全国で数百万個単位で行うのです。アメリカの大手がやりだしたら、当然日本のメーカーも競って始めます。当時は日本全国を回っていましたが、本当にクレームが無かった。喜んでくれるので、それが励みになりました。それからは、まずコマーシャルを流してからサンプル配布が普通になっていきました。

―まさかのアメリカが発祥ですか？ 想像つきませんね。大手の代理店とか通さないで受注も凄いです。

〈西脇〉 大手広告代理店も「試供品の配布」に注目し、外資系メーカーには通訳を連れてのセールス合戦でした。弊社は、現場運営のノウハウ

をいち早く構築していたので、勝負することができました。その内に、サンプルが紙に変わっていった訳です。という訳で、弊社はポストイングが始まりでは無いのです。今でも、ダイレクトマーケティングを行う会社という気持ちです。

―今日はビックリする事だらけですよ。ポストイングは、いつから、どのような体制でやっていらっしゃるのですか？

〈西脇〉 弊社は、地域にお住いの方が配布を行う固定型配布で活動しています。1997年に開始したクーポン冊子配布が起源になります。長年やっていると、親子2代で配布をしていてくれる方が居たりと嬉しい事もあります。毎年開催する親睦会が楽しみなんです。配布員さんもそれを楽しみにしてくれているので、やりがいがあります。内職作業も近所の人にお願ひしています。近所の方からも家のすぐ近所で仕事ができるので、好評です。

―親子2代とは、歴史を感じますね。こだわっている所は、どんな所でしょうか？

〈西脇〉 まずは折り作業ですね。ポストに綺麗に入るようにしっかり機械で折ります。あと、毎回新しい地図を情報入りで作成して渡します。

―固定配布では珍しいですね。毎回地図を作成するのは大変でしょうね。

〈西脇〉 35万世帯をカバーしてますので大変ですが、月1回の配布で大半が主婦なので、安心安全に配布ができるようにこだわってやっています。

―まだまだお話をお伺いしたいのですが、紙面のスペースが残り少なくなってきました。最後に今後の抱負をどうぞ！

〈西脇〉 ポスティングをベースに広がる仕事を見つけないですか。今は転換期です。ふんどしを締めてやっていきたいです。協会の副会長としては、全国で地域差があることは理解していますが、皆さんが安定して業務が行えるように体制を整えたり、認知アップの活動をしていきたいです。



株式会社 **ダイレクトマーケティングセンター**

本社所在地：大阪市東成区東小橋 1-18-1

代表取締役：西脇 久雄

事業内容：ポストイング／サンプリング／D.S.／フィールド／リパッキング／DM代行／リサーチ全般

グッドポスティング いよいよGPマーク始動！

2018年3月より安全性評価制度を実施いたします。

GPマークを取得することで広くポスティング事業を社会にアピールし、業界の発展を目指しましょう。

GPマークを取得するには

【1】申請資格要件をみたしているか

- ①管理責任者を有す
- ②ポスティング業歴3年以上
- ③自社配布員10名以上

【2】申請書類の記入

協会HPより、
申請書類をダウンロード



【3】自認事項を証する書類の準備

- ①各種帳票類
- ②各種契約書等
- ③その他

【4】申請書類の提出

全日本ポスティング協会事務局へ

【5】書類審査

【6】審査委員会による現地訪問

【7】認定

【8】GPマークの付与と公表

- ①Web
- ②広報誌
- ③経産省等公的機関との共有



審査委員長 就任ご挨拶

1月12日の理事会において安全性評価制度の審査委員長を第三者委員会の長として横地弁護士事務所の横地先生に就任していただきました

今年は特に寒いように感じられます。年初アメリカでは零下20度の寒波だそうですが、これも地球温暖化の表れの反面であると聞いております。

石炭・石油等の化石燃料の使用をやめ二酸化炭素の排出量を減らす事が急務とされておりますが、昨年、ロックフェラー財団が、化石燃料の使用を続け二酸化炭素排出量を減らさないような企業に対する投資をストップして話題になりました。継続的に利益を上げていくためにはこうした方がよいとのことです。

ポスティング安全性評価制度の基本もまた、これと同じと思われま。つまり、コンプライアンスを徹底するという事です。

コンプライアンスというと「法令の遵守」と訳されていますが、ただ単に法律を守ればよいというだけの意味ではありません。法律を支えている倫理や道徳も含めたものを守ってい

くことだと考えられます。現代の様々な利害関係のなかで、永続的・持続的に企業が存続し発展していくためには、このような意味でのコンプライアンスが是非とも必要ということです。またこのようなコンプライアンスに特に配慮した業界であるということで、今後ポスティング業界が特に社会からの

より一層の信頼を高めることにもなっていくものと確信しております。私は、このように大変重要な意味を持つ安全性評価制度について、いわばお目付け役として大事な役割を果たさせていただくこととなりますので、ひとつよろしくご協力のほど、お願い申し上げます。



横地利博弁護士

ポスティング管理責任者講習会・検定

第3回 大阪検定報告

2017年10月7日、大阪にて第3回ポスティング管理責任者講習会ならびに検定を開催し、今回は51名の方にご参加いただきました。

まず、会に先立ち西協副会長よりご挨拶をいただき、ポスティング・ガイドラインを株式会社配りやの馬場様のもと唱和いたしました。



午前の講習は伊藤理事に行っていただきました。

午後からは、前半を管理責任者制度委員長の山田理事に、後半の基礎講習を青年部の鳥海様に講義していただきました。

そして、いよいよ試験開始となり、結果追試2名ののち51名全員が合格いたしました。

昨年より計3回のポスティング管理責任者講習会ならびに検定を開催し、合計182名が合格し晴れて管理責任者と認定されました。



次回開催予定

第4回 福岡

受付終了

日時 **2018年 2月10日(土)**
9:15~16:30

場所 JR博多シティ会議室(博多阪急10階)

会費 15,000円
(講習費、検定代、テキスト代を含む)
※合格者には認定証をお渡し致します。
※本資格取得者は2年毎の更新が必要になります。

9:15~	受付
9:45~10:00	代表挨拶
10:00~12:00	講習
12:00~13:00	休憩
13:00~14:50	講習
14:50~15:10	検定試験
15:10~15:20	休憩
15:20~16:00	答え合わせ
16:00~16:30	修了式

※合格者解散

第5回 東京

日時 **2018年 3月17日(土)**

場所 五反田(予定)

※詳細は後日ご案内いたします

お問合せは 事務局 **03-6277-3720** までお願い致します。

青年部会 活動報告

昨年(2023)の1月25日に開催されました「青年部発足準備委員会」から丸1年が経ちました。

発足当初、手探り状態の青年部でしたが、会議を行う度に青年部としての在り方、目指すべき事も見えてまいりました。

皆様のご協力により、多数の部員さんに会議へ参加して頂ける様になり、企業間を超えた議論を行い、青年部として様々な協会活動にも参加させて頂く様になりました。

2年目となる来期では、青年部らしい活動をさらに強化して行きたいと考えております。

ここで改めて青年部の活動と意義を振り返りさせて頂きたいと思っております。



青年部の活動と意義

意義

青年部活動は、協会の現状に活力を与えるとともに将来に対する“種まき”であり、業界をあげて取り組む企業リーダー、協会リーダーなど人材養成の場です。

役割

- ・自由で斬新な提案
- ・人材育成、連帯意識強化
- ・協会の活性化

有意義な青年部活動を行う為にも更にも多くの方々と意見交換・議論をして行きたいと青年部では考えておりますので、まだ未参加の方はお気軽に事務局までお問合せの上、一度会議に参加してみてください！

一人でも多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

事務局だより

経済産業省へ訪問

昨年(2023)の10月6日、経済産業省へ武田専務理事・川井理事とともに3名で訪問しました。この日は担当者様の異動があったとのことで、ご挨拶とこれまでの経緯、協会活動の進捗、今後のご相談などをして参りました。

その中で「日本標準産業分類」の広告業の中へ「ポスティング」としてのインデックスを追加していただく件をこれまでの経過と共にご相談したところ、経済産業省で総務省が発表している情報等を再度調べていただける事になりました。

省庁の方々とは話のご理解が早く、こういった面談もスムーズに進みそうな予感がいたしますが、基本的にポスティングの全国の実態、総事業者数、総売上上の把握が必要で、且つそれらの推移数を5年間にわたり蓄積した数字の提示が必要との事です。これには協会が集計しております協会会員約150社の数値だけでも早く積み重ねたく思いますので、30年度の調査には全協会のご協力を紙面でお願ひ申し上げます。

衆議院第一議員会館 訪問

1月30日に、当協会の名誉顧問である馳浩衆議院議員のもとへ、白井会長・森神副会長・武田専務理事・川井理事とともに5名で新年のご挨拶と経過報告をして参りました。これから本格的に始動をする「安全性評価制度」をとっても楽しみにしておられる様子でした。日頃より期待をもってお力添えして頂いている事が身に染みる時間でした。期待を裏切らないよう、成果をきちんとお伝え出来るように尽力致しますので、協会員の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局 中丸博之



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今回はお伝えしたい内容が沢山あり、ページ数を増やして発行致しました。本年もPOSTiMEを通じて、盛りだくさんの活動内容をお伝えしてまいりますので、紙面に目

を通していただくのはもちろん、協会の各種活動を通じて業界を熱く盛り上げていきましょう！

本年もよろしくお願ひ致します。

記 川井・岡田

